



優秀賞  
鹿児島県  
信用保証協会賞  
受賞

令和5年度 鹿児島県

# ビジネスプランコンテスト

R5 Kagoshima Pref. Business Plan Contest

令和6年1月20日(土)に、ライカ南国ホールにて令和5年度鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査が行われました。

鹿児島県では、県内における起業に向けた機運醸成や事業化を支援することを目的としたビジネスプランコンテストを開催しており、当協会は2022年度から「かごしま起業応援団」に登録し、企業賞を提供しています。今年度は最終審査に進んだ14名のうち、「耕作放棄地を活用したミード(蜂蜜酒)の製造販売事業」の確立を目指す「戸田 京介」氏を鹿児島県信用保証協会賞に決定しました。コンテスト全体の優秀賞も授与された同氏に、今回お話を伺いました。



## 戸田京介氏のプロフィール

埼玉県戸田市出身。

発酵に興味を持ち、都内の大学の生命理工学科で学ぶ。酒造りの道に進み、(株)WAKAZEに入社。三軒茶屋醸造所の製造責任者として商品開発から製造管理まで担当。

知人から紹介されたいちき串木野市にある(有)白石酒造の原料栽培に拘った酒造りに惚れ込み、前職を退社。

令和5年に、いちき串木野市へ移住。(有)白石酒造にて芋焼酎の有機栽培から醸造までを学び現在に至る。



コンテスト優秀賞及び当協会賞を受賞された戸田京介さん

## Q. 今回のプランについて概要を教えてください。

焼酎の消費量停滞や過疎化・高齢化による耕作放棄地の増加といった地域の課題解決に向けて、消費トレンドの変化や健康志向の高まりに着目し、醸造経験のある蜂蜜を発酵させたお酒(ミード)の製造販売を行っていきます。

ナチュラルワインに代表されるように自然に回帰したものづくりの需要は年々上昇しており、また、クラフトビールのように画一的な商品から多様なものへと消費も変化しつつあります。

これまで、ミードを醸造し販路開拓してきて手応えも感じており、放棄地を活かして、都市圏での消費を踏まえた事業を行うことで、付加価値をもたせた事業を行い、地域の活性化に貢献したいと思っています。



## 【本事業の概要】



- ・ 地域自然を再生させ、地域資源がそのまま付加価値となるようなお酒づくりを掲げます。そうすることで景観や獣害対策だけでなく、養蜂家支援、農家支援を目指し地域に循環する産業を構築します。
- ・ ウェルネス市場の成長に注目し、無農薬での原料生産や無添加でのお酒づくりをおこない、アウトドアなど自然において、非日常的な利用を提案することで人にも自然にも良い存在となるプロダクトを目指します。

### Q. 今後の事業展開や夢を教えてください。

まずは醸造所を作り製造を行っていきます。

蜂蜜は以前の取引先であった県外の養蜂場から仕入れるほか、鹿児島島の養蜂場とも取引を開始する予定です。

ブランド価値を高めるため、アウトドアブランドとの共同イベントや地方リゾート施設とのタイアップなどを目指します。

耕作放棄地では、将来的には自身で蜜源となる果樹を栽培しながら、その果実を使ってお酒を造ることも可能です。ミード事業を成長させ、養蜂家の支援や、収穫の際には地域高齢者の雇用を創出できるような取り組みを行っていきたいと考えています。

お酒づくりを通じて地域や環境の課題を解決できる可能性があると同時に、自身のお酒にとっても最大の付加価値になると考えています。

### 【保証協会より一言】

鹿児島の伝統的な地域資源である「焼酎」と「蜂蜜」を利用して、わが国でも希少性の高い新しい「ミード」を製造販売し、それを都市部の消費者に訴求するというビジネスモデルは、本来の資源に付加価値を付けて感度の高い若者や女性などの市場を対象にするという点で、戦略的であり、将来性を感じ「協会賞」に決定いたしました。

### 「ビジネスプランコンテスト」とは？

鹿児島県内において、起業の予定、または新規ビジネスプランを有する方（高校生・大学生等を含む）を対象とし、「新規性及び成長性がある事業」または「地域課題の解決に資する事業」について実現可能性が高いビジネスプランを募集。最終審査でファイナリストに選出された事業については、賞金等の他、翌年度以降の事業化について県補助金の支援が受けられます。

### 「かごしま起業応援団」について

官・民が連携した企業支援の取組を推進するため、コンテストの趣旨に賛同した企業が登録し、協力する取組です。

コンテストの周知や広報、ビジネスプランに関するアドバイス、資金調達方法の提案等、各企業の取組に応じて、応募者に様々な支援を行います。